

ADHD・高機能自閉症の子どもたちへの適切な対応

—— 成人当事者たちからの提言集 ——

平成16年(2004年)1月

独立行政法人
国立特殊教育総合研究所

平成15年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2) 課題番号 13410042)による刊行物
研究課題名: 自閉症児・ADHD児における社会的障害の特徴と教育的支援に関する研究
研究代表者: 東條吉邦(独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 分室長)

まえがき

本冊子は、ADHD（注意欠陥／多動性障害）と自閉症スペクトラム（アスペルガー症候群、高機能自閉症等）の成人当事者の方々に、自らの学校生活（特に小・中学校時代）を振り返ることによって、ADHD・自閉症の子どもたちへの適切な支援の方法や、社会的困難性への対処の方法を提案いただき、支援マニュアルとして使用できるようにまとめた提言集です。

科学研究費補助金基盤研究（B）（2）『自閉症児・ADHD児における社会的障害の特徴と教育的支援に関する研究』の一環として、平成15年度の研究では、障害の当事者の視点から、望ましいと考えられる支援の方法や内容、望ましくない対応などを検討することにしました。平成15年4月から10月にかけて、ADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症の成人当事者の方々との会合やメールのやり取りなどを通して、学校生活で困難を感じていたことを中心に、当事者の立場から、教育関係者に伝えたいこと、支援の方法に関する意見や提案をいただきました。

特に、大人になった当事者が、ADHD・自閉症の子どもたちへの対応や配慮として重要だと思ふ点を指摘していただき、これらの提言をまとめ、冊子として刊行することとしました。この提言集の編集は、発達障害相互支援ネットワークの高森明さんと迫持要さんを中心に進められました。

ADHD児、高機能自閉症児への教育支援の充実のため、本冊子を有効に活用していただければ幸いです。

平成16年1月

独立行政法人

国立特殊教育総合研究所分室長

東 條 吉 邦

目次

まえがき	東條 吉邦	
はじめに	高森 明	1
執筆協力者一覧		3
障害の分類、用語およびAQについて		5
第1章：執筆者の自己紹介		12
ADHD 12	ADHDとアスペルガー症候群の併存 14	
アスペルガー症候群・高機能自閉症等 16		
第2章：学校生活の困難		21
クラスメートとの関係 21	学校の先生との関係 25	
多動・パニック 30	融通の効かなさとこだわり行動 32	
集団行動・指示の理解の困難 36	感覚の過敏さ・鈍感さ 39	
身体・手先の不器用さ 43	男子生徒・女子生徒の悩み 45	
第3章：学校生活の各場面		48
授業中 48	休み時間・昼休み 55	登下校 58
学校行事・校外学習・課外活動 61		
係活動・委員会活動・部活動 64	教科・実技 69	
第4章：おわりに 成人当事者たちからのメッセージ		75
あとがき		84